お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

SoftBank 101N

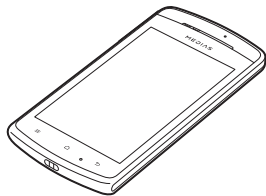
2012年2月第2版発行 ソフトバンクモバイル株式会社

製造元：NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社

MDT-000167-JAA1

お買い上げ品の確認

このたびは、「SoftBank 101N」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

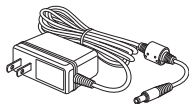
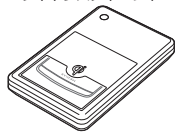
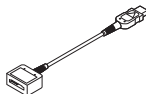
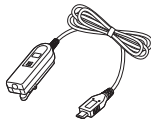
■ 101N本体

■ 電池パック（NEBAW1）

■ SDカード（2GB）（試供品）

お買い上げ時、SDカードは本機に取り付けられています。

■ ワイヤレスチャージャー（NEEAW1）

<ワイヤレスチャージャー>

<専用ACアダプタ>

■ 充電用microUSB変換アダプタ（NECAW1）

■ microUSB-φ3.5変換アダプタ（NEDAW1）

■ クイックスタート

■ お願いとご注意（本書）

■ ワイヤレスチャージャー取扱説明書

■ 保証書（本体、ワイヤレスチャージャー）

- 万一梱包内容に不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- その他オプション品につきましては、お問い合わせ先（P.42）までご連絡ください。

- 本書では、「SoftBank 101N」を「本機」と表記しています。
- 本書では、「microSDメモリカード」／「microSDHCメモリカード」を「SDカード」と表記しています。
- 本書の操作説明は、キーイラストを簡略化して記載しています。
- ワイヤレスチャージャーについては、「ワイヤレスチャージャーについて」（P.21）と「ワイヤレスチャージャー取扱説明書」をご参照いただき、正しくご使用ください。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

こんな使いかたはやめましょう

本機をご利用になるときに、誤った使いかたをするとけがや故障の原因となります。

分解・改造

分解や改造をしないでください。

無理な取り付け

電池パックなどをうまく取り付けられないときは、取り付ける向きを確かめてください。

外部接続端子の接触禁止

外部接続端子に金属などを触れさせないようにしてください。

指定品以外の使用

本機に使用する機器は、当社の指定品以外のものは使用しないでください。

加熱の禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に本機や電池パックを入れて加熱しないでください。

運転中

自動車運転中のご使用は、法律で禁止されています。車を安全なところに停車させてからご使用ください。

OFF ON こんな場合は必ず電源を切りましょう

航空機内

航空機内でのご使用は罰せられることがあります。本機の電源をお切りください。機内で本機が使用できる場合は、航空会社の乗務員の指示に従い適切にご使用ください。

病院内

病院など医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従いましょう。

満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがありますので、本機の電源をお切りください。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード

周囲の方の迷惑にならないよう、本機から音が出ないようにします。

ホーム画面で電源キー（長押し）→「マナーモード」

留守番電話サービス

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示	説明
⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

※1 重傷とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

絵表示	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機・電池パック・USIMカード・ACアダプタ（オプション品）・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタ・SDカード（試供品）の取り扱いについて（共通）

⚠危険

指示

本機に使用する電池パック・ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタの発熱・発火・故障などの原因となります。

分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。
火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。
使用場所、取り扱いにご注意ください。

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。
機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

禁止

本機に電池パックを取り付けたり、ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠警告

禁止 **本機・電池パック・ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。**
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

指示 **プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。**
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

禁止 **落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。**
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

指示 **使用中・充電中・保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。**
1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。
異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

禁止 **外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。**
ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。**
落下して、けがや故障などの原因となります。バイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

指示 **乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。**
けがなどの原因となります。

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**
故障の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

禁止 **火の中に投下しないでください。**
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止 **釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止 **電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。**
失明などの原因となります。

⚠警告

指示 **電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。**
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パックの使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。**
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示 **電池パックが漏液したり、異臭がするときは、ただちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火や破裂の原因となります。

禁止 **落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、ただちに使用をやめてください。**
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

指示 **ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。**
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠注意

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

本機の取り扱いについて

⚠警告

禁止

自動車・バイク・自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。
交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。
航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。
航空機内で携帯電話の電源を入れると、罰則の対象となる場合があります。
機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の乗務員の指示に従い適切にご使用ください。

指示

心臓の弱い方は、着信時のバイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える恐れがあります。

指示

屋外で使用中に雷が鳴り出したら、アンテナを収納し、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。
また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。
同様にライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。
視力低下などの傷害を起こす原因となります。
特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。
また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
本機を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

イヤホンマイクを本機に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本機を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、本機が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。
ディスプレイ部には対衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

禁止

本機内のUSIMカードスロットやSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。
本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（使用材料⇒P.37）。

禁止

磁気カードなどを本機に近づけないでください。
キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

アンテナ、ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。
本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているとき、ハンズフリーでの通話中などは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
内部の物質が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

人の多い場所では、使用しないでください。
アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

アンテナが破損したまま使用しないでください。
肌に触れるとやけどや、けがなどの事故の原因となります。

本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

モーションセンサーご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本機をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
モーションセンサーは、本機を傾けたり振ったりして操作をする機能です。振りすぎなどが原因で、人や物などに当たり、重大な事故や破損などにつながる可能性があります。

本機に金属製などのストラップを付けている場合は、モーションセンサーご利用の際、ストラップが人や物などに当たらないようご注意ください。
けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

USIMカードの取り扱いについて

⚠注意

USIMカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

ACアダプタ(充電用microUSB変換アダプタ含む)の取り扱いについて

⚠警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもって火災や故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

ACアダプタ:AC100V～240V
（家庭用ACコンセント専用）
また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。

万が一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタのプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電・ショート・火災などの原因となります。

濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタ(充電用microUSB変換アダプタ含む)には触れないでください。
感電などの原因となります。

ACアダプタ(充電用microUSB変換アダプタ含む)のコードが傷んだら使用しないでください。
感電・発熱・火災の原因となります。

ACアダプタ(充電用microUSB変換アダプタ含む)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

ACアダプタ(充電用microUSB変換アダプタ含む)のコードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電や火災の原因となります。

⚠注意

禁止

ACアダプタ(充電用microUSB変換アダプタ含む)をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱・発火・破裂させる原因となります。

電源プラグを抜く

充電終了後は、コンセントからプラグを抜いてください。
火災や故障の原因となります。

SDカード(試供品)の取り扱いについて

⚠警告

指示

異常な音や臭いがしたり、過熱、発煙した時は、すぐにパソコンなどの使用機器および周辺機器のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、本製品には触らないでください。

⚠注意

禁止

端子部に直接触れたり金属や硬い物をあてたり、ショートさせたりしないでください。
静電気などによりデータが破壊、消失する恐れがあります。

指示

本製品は、SDメモリカード規格標準のフォーマット済みです。本製品をフォーマットする場合は、本製品に記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。
パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込み、あるいは読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会[平成9年4月])に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」(平成13年3月「社団法人　電波産業会」)の内容を参考にしたものです。

⚠警告

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

● 本機は電波を使用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても、ビルの陰・ビル内・トンネル・地下・山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また、通話中やデジタルテレビ視聴中にこのような場所へ移動する場合、通話やデジタルテレビ映像が途切れる場合がありますのであらかじめご了承ください。
● 公共の場所でご利用いただくときは、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
● 歩行中に着信した場合は、周囲の状況を確認し、安全な場所へ移動してからご使用ください。
● 事故や故障などにより本機／SDカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失、変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
● 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
● 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
● 傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
<傍受とは>
無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
● 電車などの交通機関で使用した場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。
● 次のような場所は、電話がつながらなかったり雑音が入ることがあります。
・製氷倉庫など特に温度が下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。
・金属製家具などの近くに置かないでください。電波が飛びにくくなります。
・電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところ、磁波が発生しているところに置かないでください。（コンピュータ・電子レンジ・スピーカー・テレビ・ラジオ・ファクシミリ・蛍光灯・ワープロ・電気こたつ・インバーターエアコン・電磁調理器など。）
● 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。
● 緊急通報（110、119、118）発信時においては、緊急通報受理機関（警察など）に対してGPS測位による位置情報通知はできません。基地局測位情報をもとに算出した位置情報を通知します。
● 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
● 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
● 次のような場所では、充電しないでください。
・湿気・ほこり・振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
● 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

● 本機を充電中に長時間連続使用される場合には特にご注意ください。充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本機・電池パック・ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがありますのでご注意ください。
● 強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
● 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
● 本機のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない使用周波数13.56MHz帯の微弱電波を使用しています。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
● ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障や破損の原因となります。
● 本機で画面ロック解除用のロックNo.、パスワードを設定した場合は、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。
● 本機では、Google Inc.が提供する「Android マーケット™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルス等）につきまして、当社は一切の保証を致しかねます。

自動車内でのご利用にあたって

● 自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。
● 車を安全な場所に停車させてからご使用ください。
● 自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

お取り扱いについて

● 本機は防水／防塵性能を有しておりますが、本機内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。電池パック・ACアダプタ・充電用microUSB変換アダプタ・microUSB-φ3.5変換アダプタ・USIMカード・SDカード（試供品）は防水仕様にはなっておりません。雨のあたる所や風呂場など、湿気の多い所での使用はおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
● お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
・乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
・ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本機や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ったりすると、ディスプレイ・内部基板・電池パックなどの破損や故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクター破損や故障の原因となります。
- 使用中・充電中、本機は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の退色や焼付きを起こす場合があります。
- ディスプレイ面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。故障の原因となります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、こうした消失や変化に起因する損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管や放置をしないでください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。ほこりや水などが入り故障の原因となります。
- 充電用microUSB変換アダプタやmicroUSB-φ3.5変換アダプタを外部接続端子から抜く場合は、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると断線や故障の原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 極端な高温や低温は避けてください。温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。本機を極端に高温な場所に放置すると、自動的に電源が切れる場合があります。
- 電池パックは消耗品です。使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。本機のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ICカード認証機能は日本国内で使用してください。本機のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- USIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本機に取り付けないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。故障や破損の原因となります。
- 電池カバーを外したまま使用しないでください。電池パックが外れたり、故障や破損の原因となったりします。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不法行為等を行った場合、法律、条令（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

スピーカーについて

本機は受話口とスピーカーが兼用になっているため、音の再生／着信時などに、大きな音がスピーカーから直接耳に入る恐れがあります。大きな音で耳を刺激すると聴力に悪い影響を与える可能性があります。通話後はすぐ耳から離すなど注意してご使用ください。

タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
  次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチパネルが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶときは、画面ロックにした状態で持ち運んでください。画面ロックを解除した状態だと、誤動作を起こす原因となります。

緊急地震速報について

- お買い上げ時、受信設定は「利用する」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「利用する」にしている場合は、ご利用時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

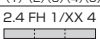
Bluetooth®について

- Bluetooth®機能は日本国内で使用してください。本機のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 本機は、Bluetooth®を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth®を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth®を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● 周波数帯について

本機のBluetooth®機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

(1) (2) (3) (4) (5)
2.4 FH 1/XX 4
(6)

(1) 2.4 :2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
(2) FH :変調方式がFH-SS方式であることを示します。
(3) 1 :想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
(4) XX :変調方式がその他の方式であることを示します。
(5) 4 :想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
(6) ▭ :2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth®搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要していない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、使用場所を変えるか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
- そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

  連絡先:ソフトバンクモバイルカスタマーサポート
  ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
  (一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」(P.42)を参照してください。)

Wi-Fi(無線LAN)について

● 電気製品･AV･OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ･ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のWi-Fiアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

Wi-Fi搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

(1) (2) (3)(4)
2.4 DS/OF 4
(5)

(1) 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
(2) DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示します。
(3) OF : 変調方式がOFDM方式であることを示します。
(4) 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
(5) ▭▭▭ :
2400MHz ～2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

Wi-Fi搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。

   連絡先:ソフトバンクカスタマーサポート
   ソフトバンク携帯電話から　157(無料)
   (一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」(P.42)を参照してください。)

- 利用可能なチャネルは国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
- Wi-Fiを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所、周波数などが制限されている場合があります。その国の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

著作権などについて

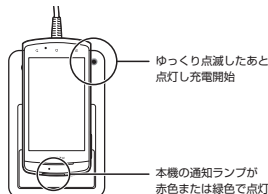
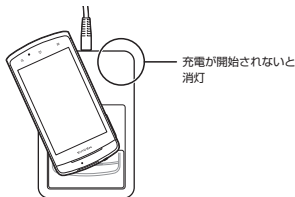
音楽、映像、コンピュータ･プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記目的を超えて、権利者の了承なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、著作物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権人権的侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
本機を使用して複製など行う場合は、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されておりますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。
本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

注意

改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊕」が本機の銘版シールに表示されております。本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

ワイヤレスチャージャーについて

ワイヤレスチャージャーで本機を充電する際は、以下をご確認の上、正しくお使いください。

● ワイヤレスチャージャーで充電中、まれに周辺環境により電波状態が悪くなる場合があります。万が一圏外になった場合は、本機を一旦取り外し、圏内表示になるまで待機した上で、再度ワイヤレスチャージャーに置きなおしてください。
● 充電する際は、ワイヤレスチャージャーに貼ってあるラベルのイラストと、本機の位置を合わせ、本機をゆっくりと置いてください。

● ワイヤレスチャージャーのφマークと、本機のφマークを合わせてください。
● ワイヤレスチャージャーのチャージインフォメーションおよび本機の通知ランプの点灯で、充電の状態をご確認ください。
● 本機にカバーなどを装着していると、カバーなどの材質、厚みなどによって充電できない場合があります。確実に充電するには、カバーなどから取り出してください。
● ワイヤレスチャージャーと本機の間に、金属製ストラップなどの金属類を挟んで充電しないでください。
● 充電中はワイヤレスチャージャーと本機を動かさないでください。万が一本機がずれて充電が停止した場合は、本機を一旦取り外し、約2秒後に再度ワイヤレスチャージャーに置きなおしてください。
● ワイヤレスチャージャーについて詳しくは、「ワイヤレスチャージャー取扱説明書」またはソフトバンクモバイルホームページより取扱説明書をご確認ください。

防水／防塵性能について

本機は、外部接続端子キャップを閉じ、電池カバーをしっかりと取り付けた状態でIPX5[※1]、IPX7[※2]の防水性能と、IP5X[※3]の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1m のところに本機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

● 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
● 手が濡れているときや本機に水滴がついているときは、電池カバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
● 洗面器などに張った常温の水道水につけて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水を当てながら手で洗うことができます。
  ・電池カバーをしっかり取り付けた状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま洗ってください。
  ・洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  ・送話口や受話口／スピーカーに蛇口の水を直接当てないでください。
● プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。
● 泥や土などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
● 風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  ・温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  ・風呂場での長時間のご使用はお避けください。

ご利用にあたって

● ご使用前に、外部接続端子キャップ、電池カバーをしっかり閉じ、完全に装着している状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると水や粉塵の侵入の原因となります。
● 水中で本機を使用（キー操作など）しないでください。
● 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けないでください。

<例>

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

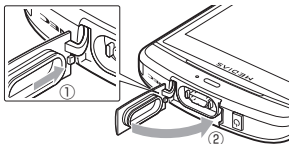
温泉

外部接続端子キャップの開けかた／閉じかた

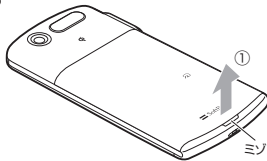
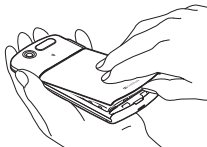
■ 開けかた

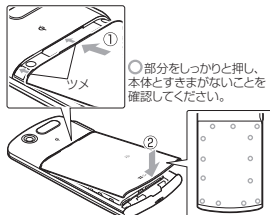
ミゾに指をかけて矢印の方向に開けてください。

■ 閉じかた

図のように、キャップ裏面のツメを①の方向に差し込んだ状態で、②の方向にしっかりとキャップ全体を押し込んで取り付けます。

電池カバーの取り付けかた／取り外しかた

■ 取り外しかた

1. 本機を手に持ち、ミゾに指をかけて、①の方向に電池カバーを持ち上げる

2. 開いたすきまに指をいれ、無理な力を加えないよう取り外す

■ 取り付けかた

1. 電池カバーのツメを①の方向に差し込み、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

- 電池カバーを取り外すときは、水抜きを行い、本機の水分をよく拭き取ってください。
- 電池カバーを取り付けるときは、電池カバー周辺(特にゴムパッキン)にゴミや汚れが付着していないことを確認してください。
- 電池カバーを確実に取り付けないと、水や粉塵の侵入の恐れがあります。
- 電池カバーを取り付ける際は、USIMカードやSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。USIMカードやSDカードの挿入が不十分だと、電池パックがUSIMカードやSDカードにのり上げ、電池カバーを取り付けた際に、本機と電池カバーの間にすきまが生じて防水／防塵性能を損なう場合があります。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換は本機をお預かりして有料にて承ります。お問い合わせ先(P.42)または最寄りのソフトバンクショップにご相談ください。

水に濡れたときの水抜きについて

本機を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

- 送話口や受話口／スピーカーに水滴が付着していると受話音やメロディ音などが小さくなり、音質が悪くなる場合があります。その場合、以下の手順で水抜きを行い、その後十分に自然乾燥させることで元に戻ります。

1. 本機表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 本機をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

<送話口や受話口／スピーカーの水抜き>

3 送話口や受話口／スピーカーのすきまに溜まった水は、乾いた清潔な布などに本機を軽く押し当てて拭き取る

・すきまに溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 本機から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取る

・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

● 本機が濡れていないか確認してください。水に濡れた後はよく水抜きをして、乾いた清潔な布などで拭き取ってから、付属のワイヤレスチャージャーに置いたり、外部接続端子キャップを開いてください。

● 外部接続端子キャップを開いて充電した場合、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
外部接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、ワイヤレスチャージャーを使用して充電することをおすすめします。
・本機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
・濡れた手でACアダプタ、ワイヤレスチャージャーに触れないでください。感電の原因となります。
・ACアダプタ、ワイヤレスチャージャーは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

● S!メール、デコレメール、楽デコ、スマセレ、コミックライフ、ムービーライフ、とくするライフ、プレミアファッション、@アプリ、スマートセキュリティ powered by McAfee®は、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
● SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
● 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
● 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
● ⓕは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
● microSD、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

● QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
● 「PictMagic／ピクトマジック」「MEDIAS／メディアス」「MEDIAS NAVI／メディアスナビ」「Tap search」「Quick Shot／クイックショット」「MEDIAS WELLNESS」「Days」「MEDIAS BEAUTY」「Beauty up Camera」「Beauty up Navi」「Beauty up Calendar」「Style up Closet」「Beauty up Advisor」「SutekiSnap」「おまかせコピー」はNECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社の商標または登録商標です。
● Microsoft、PowerPoint、Excel、Windows、Windows Mediaおよび Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● T9®はNuance Communications, Inc.,および米国その他の国におけるNuance所有法人の商標または登録商標です。

● McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。
● ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
● MovieSolid®およびそのロゴマークは、株式会社モルフォの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
● 「Google」「Android」「Android マーケット」「Gmail」「Google Calendar」「Google Maps」「Google Talk」「Google Latitude」「YouTube」「Picasa」および「Google」ロゴ、「Android」ロゴ、「Android マーケット」ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。

● Wi-Fi®、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴおよびWi-Fi Protected Setupロゴは Wi-Fi Allianceの登録商標です。
● Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA™およびWPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

● らくらく無線スタートはNECアクセステクニカ株式会社の登録商標です。
● 「Twitter」の名称、ロゴは、Twitter, Inc. の登録商標です。
● 「GREE」および「GREE」ロゴは、グリー株式会社の登録商標または商標です。
● 「mixi」は株式会社ミクシィの登録商標です。
● 「Facebook」はFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
● ビューンおよびVIEWNの名称、ロゴは株式会社ビューンの商標です。
● 「レコチョク」、「レコチョク（ロゴ）」は、株式会社レコチョクの登録商標です。
● 「スグデコ!」は、株式会社アイフリークの登録商標です。
● ©ビューティーコレクションは、株式会社ルビックの登録商標です。
● Copyright© CyberAgent, Inc. All Rights Reserved.
● ATOKは株式会社ジャストシステムの登録商標です。

● 「andronavi／アンドロナビ」、「ついっぷる」、「旅比較ねっと」、「ソトメモ」、「FaceCamera」はNECビッグローブ株式会社の商標または登録商標です。
● 「ソラダス」は、株式会社エムティーアイの登録商標です。
● 「G-SHOCK」は、カシオ計算機株式会社の登録商標です。
● QiマークはWireless Power Consortiumの商標です。
● 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
● その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

その他

● 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio LicenseおよびAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
- MPEG-4 Visual規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）およびAVC規格に準拠する動画（以下、AVC Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合
- MPEG-4 VideoおよびAVC Videoを提供することについてMPEG-LAよりライセンスを受けた者から提供されるMPEG-4 VideoおよびAVC Videoを再生する場合

上記以外の使用についてのライセンスは付与されていません。プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。（http://www.mpegla.com参照）

● FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。

● 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerを搭載しています。
 Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

● Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、NECカシオモバイルコミュニケーションズ株式会社はライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
● ©MTI Ltd.

Windowsの表記について

● WindowsはMicrosoft Windows operating systemの略称として表記しています。
● 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft®Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

Adobe® Flash® Playerのご使用について

● 本製品に搭載されているAdobe® Flash® Player（以下「本ソフトウェア」といいます）は、著作権法によって保護されています。お客様は、本ソフトウェアを使用する際以下に掲げた事項をお守りください。
①本ソフトウェアを複製し頒布しないこと。
②本ソフトウェアを改変もしくは翻訳しないこと、または本ソフトウェアの二次的著作物を作成しないこと。
③本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルしないこと、または本ソフトウェアのソースコードの解明を試みないこと。
④本ソフトウェアの使用によって被った派生損害、間接損害、付随的損害、特別損害、または利益の喪失に対する賠償請求をしないこと。

GPL／LGPL適用ソフトウェアについて

● 本製品には、GNU General Public License（GPL）またはGNU Lesser General Public License（LGPL）に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変することができます。
GPLおよびLGPLの詳細は、ホーム画面で［≡］→「設定」→「端末情報」→「法的情報」→「オープンソースライセンス」を参照してください。

■ ソースコードの入手方法

ソースコードの入手方法については、下記ウェブサイトにてご案内しています。
http://www.n-keitai.com/guide/download/
なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種101Nの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を越えないこととしています。
この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

この携帯電話機101NのSARは0.285 W/kgです。
この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。
個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/
※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

「ソフトバンクのボディSARポリシー」について

*ボディ(身体)SARとは:
携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率(SAR)のことです。

**比吸収率(SAR):
6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
ボディSARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

***身体装着の場合:
一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。
この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。
FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。
測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記のとおりに従って身体に装着した場合は0.79W/kgです。

身体装着の場合:
この携帯電話機101Nでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。
FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。
上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。
Cellular Telecommunications & Internet Association(CTIA)のホームページ
http://www.ctia.org(英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機101Nは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。
携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.307W/kg※です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
(http://www.who.int/emf)(英文のみ)

※ 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

General Notes

Radio Frequency (RF) Electromagnetic Safety

For body-worn operation, this phone has been tested and meets RF energy exposure guidelines when used with accessories containing no metal, that position handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

RF Energy & Specific Absorption Rate (SAR)

SoftBank 101N meets the MIC's* technical regulation for exposure to radio waves.

The technical regulation established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg)** averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age/health.
The value of the limit is equal to the international guidelines recommended by ICNIRP***.

The highest SAR value for this mobile phone is 0.285 W/kg when tested for use at the ear.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet MIC's technical regulation. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
  http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
  http://www.arib-emf.org/ (Japanese)

*Ministry of Internal Affairs and Communications
**The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
***International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

SoftBank Body SAR Policy

For body-worn operation, this mobile phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

For more information, see SOFTBANK MOBILE Corp. Website:
http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html (Japanese)

FCC Regulations

This mobile device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
This mobile phone has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Energy Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age/health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.57 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.79 W/kg.

Body-worn Operation: This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. Non-compliance with the above restrictions may result in violation of FCC RF Exposure guidelines.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID A98-AOX4655. Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website: http://www.phonefacts.net.

European RF Energy Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age/health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.288 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.307 W/kg. As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

*Tests carried out in accordance with international guidelines for testing.
** Please see Radio Frequency (RF) Electromagnetic Safety on P.31 for important notes regarding body-worn operation.

Declaration of Conformity

CE 0168 ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, NEC CASIO Mobile Communications, Ltd. declares that 101N is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address: http://www.n-keitai.com/

暗証番号について

本機のご利用にあたっては、ネットワーク暗証番号(発着信規制用暗証番号)が必要になります。
ご契約時の4桁の暗証番号で、契約内容の変更やオプションサービスを一般電話から操作したり、発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。

- ネットワーク暗証番号(発着信規制用暗証番号)はお忘れにならないよう、また、他人に知られないようご注意ください。
- 万一、ネットワーク暗証番号(発着信規制用暗証番号)が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、ネットワーク暗証番号(発着信規制用暗証番号)の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先(P.42)までご連絡ください。
- 以前、携帯電話から発着信規制用暗証番号を変更されたお客様は、発着信規制を設定する際に、その変更された番号を入力してください。

PINコード設定

PINコードは第三者による本機の無断使用を防ぐために使用する暗証番号です。
お買い上げ時は「9999」に設定されています。

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロック状態になります。その際は、PINロック解除コード(PUKコード)が必要となります。PINロック解除コードについては、お問い合わせ先(P.42)までご連絡ください。PUKコードを10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。
  その際には、ソフトバンクショップにてUSIMカードの再発行(有償)が必要になります。

PINコードを有効にする

PINコードを有効にすることで、USIMカードを本機に取り付けた状態で電源を入れたとき、PINコードを入力する画面を表示するように設定することができます。

1. ホーム画面で[≡]→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」→「PIN設定」
2. 「PIN入力設定」(✔表示)→PINコードを入力→「OK」

PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードを有効にしている場合のみ行えます。

1. ホーム画面で[≡]→「設定」→「現在地情報とセキュリティ」→「PIN設定」
2. 「PIN変更」→現在のPINコードを入力→「OK」
3. 新しいPINコードを入力→「OK」→新しいPINコードを再度入力→「OK」

使用材料

101N本体

使用箇所		材質、表面処理
外装ケース	ディスプレイ面	ナイロン樹脂、UVコーティング
	電池面	ナイロン樹脂、すず蒸着＋UVコーティング
	ボトムパーツ	PC樹脂、すず蒸着＋UVコーティング
ディスプレイパネル		強化ガラス、フッ素コーティング
ディスプレイ面パネル		アクリル＋PC複合樹脂、ハードコート
ライトおよび赤外線ポートパネル		
カメラパネル		
カメラリング		ABS樹脂、すず蒸着＋UVコーティング
電池カバー	表面	PC樹脂、UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム、フッ素コーティング
キー	電源キー	PC樹脂、すず蒸着＋UVコーティング
	音量キー	
外部接続端子キャップ	本体	PC樹脂＋ポリエステル系熱可塑性エラストマー、すず蒸着＋UVコーティング
	止水部	シリコーンゴム、シリコーンコーティング
ワンセグ用アンテナ	上段及び中段	ステンレス合金
	下段	ニッケルチタン合金
	根元ヒンジ部	ステンレス合金
	先端キャップ	ABS樹脂
電池パック収納部	側面	ナイロン樹脂
	底面	マグネシウム合金MD1D（JIS）相当品、化成処理
	ロックスイッチ	POM樹脂
	内部フレーム	PC樹脂
	レバー	ステンレス合金
	ネジ	ステンレス合金、黒染め
電池端子	電池端子コネクタ本体	LCP樹脂
	端子部	リンセイ銅、金メッキ

電池パック

使用箇所		材質、表面処理
電池パック（端子）	電池パック本体	樹脂部：PP樹脂 ラベル：PET樹脂
	端子部	ガラスエポキシ樹脂、金メッキ

ワイヤレスチャージャー

使用箇所		材質、表面処理
ワイヤレスチャージャー本体	外装ケース	PC樹脂
	充電アシストボタン	
	コネクタ挿入口	PA樹脂
専用ACアダプタ	アダプタケース	PC樹脂
	電源プラグ	黄銅、ニッケルメッキ
	キャップ	TPE樹脂
	コード	
	コネクタ先端部	PBT樹脂
	コネクタ部	黄銅、ニッケルメッキ

充電用microUSB変換アダプタ

使用箇所	材質、表面処理
microUSBプラグ部	ステンレス合金、ニッケルメッキ
キャップ	PO樹脂
コード	TPE樹脂

microUSB-Φ3.5変換アダプタ

使用箇所	材質、表面処理
マイク部	ABS樹脂
イヤホンプラグ挿入口	PBT樹脂
microUSBプラグ部	ステンレス合金、ニッケルメッキ
キャップ	熱可塑性ゴム化合物
コード	TPE樹脂

ソフトウェア更新

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには更新ができます。

● ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
● ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。
● ソフトウェア更新中は、ほかの機能は操作できません。
● 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします(一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合もあります)。ソフトウェア更新前に本機に登録されたデータはそのまま残りますが、本機の状況(故障など)により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● ソフトウェア更新中は絶対に電池パックやUSIMカードを取り外したり、電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
● ソフトウェア更新に失敗すると、本機が使用できなくなることがあります。その場合はお問い合わせ先(P.42)までご連絡ください。

ソフトウェアを更新する

1 **ホーム画面で[≡]→「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」**
  - 以降は、画面の指示に従って操作してください。
    ソフトウェア更新が完了すると、自動的に再起動します。

・ソフトウェア更新後に再起動しなかった場合は、電池パックを取り外し、再度取り付けてから電源を入れ直してください。
上記の動作を行っても起動しない場合は、お問い合わせ先(P.42)まで、ご連絡ください。

保証とアフターサービス

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

● お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
● 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
● 保証期間は、保証書をご覧ください。
修理を依頼される場合、お問い合わせ先(P.42)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
● 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
● 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

・本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ(電話帳/画像/サウンドなど)や設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
・アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先(P.42)までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内

ソフトバンク携帯電話から：157（無料）
一般電話から：0800-919-0157（無料）

紛失・故障受付

ソフトバンク携帯電話から：113（無料）
一般電話から：0800-919-0113（無料）

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

東日本地域	022-380-4380（有料）
東海地域	052-388-2002（有料）
関西地域	06-7669-0180（有料）
中国･四国･九州･沖縄地域	092-687-0010（有料）

スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はここから
ソフトバンク携帯電話から:151（無料）
一般電話から:0800-1700-151（無料）

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難･紛失のご連絡
+81-3-5351-3491
（有料、ソフトバンク携帯電話からは無料）